



# 卵の苺

学校だより号外  
東浦町立北部中学校  
令和8年2月4日



## 令和7年度「学校教育診断調査」の結果について

令和7年度の「学校教育活動アンケート」へのご協力、ありがとうございました。生徒、保護者、教職員の結果と分析は以下の通りです。

### 1 アンケート結果

「よくあてはまる・どちらかといえばあてはまる（以下あてはまる）」と回答した割合に対して、次のように判定しています。A判定（100～80%）、B判定（79～70%）、C判定（69～60%）、D判定（59%以下）

#### (1) 生徒評価

校訓	質問	よくあてはまる	どちらかといえばあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	あてはまる	判定
剛健	学校生活は楽しい。	60.9%	32.1%	5.3%	1.7%	93.0%	A
	体を動かすことやバランスのとれた食生活、十分な睡眠時間の確保など、自分の体力や健康に気を付けた生活をしている。	36.0%	43.9%	18.2%	1.9%	79.9%	B
	自分にはよいところがある。	39.9%	43.6%	12.7%	3.8%	83.5%	A
	先生は、自分（たち）のよいところを認めてくれている。	43.4%	47.5%	7.4%	1.7%	90.9%	A
志学	楽しく、または興味関心をもって、学習に取り組んでいる。	40.8%	39.6%	14.9%	4.8%	80.4%	A
	自分に適した学習の仕方に取り組んでいる。	38.2%	42.4%	16.3%	3.1%	80.6%	A
	自分には将来の夢や希望がある。	38.4%	26.4%	21.1%	14.1%	64.8%	C
誠実	いじめがなく安心して生活ができています。	71.5%	21.8%	4.1%	2.6%	93.3%	A
	学校での活動（行事・委員会活動・係活動・清掃等）でやりがいを感じている。	39.7%	41.2%	15.3%	3.8%	80.9%	A
	ボランティア活動や地域の活動など、身に付けた力を他者のために発揮できる校外の活動に参加している。	23.7%	29.5%	31.9%	14.9%	53.2%	D
その他	6月2日から6日までの5日間に、5時間授業の週を設けた週は、放課後の時間が増えたことで、ゆとりをもった学校生活を過ごすことができた。	71.5%	21.8%	3.5%	3.2%	93.3%	A



## (2) 保護者評価

校訓	質問	よくあてはまる	どちらかといえばあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	分からない	あてはまる	判定
剛健	お子様は、楽しく学校生活に取り組んでいる。	35.4%	49.8%	8.9%	2.1%	3.8%	85.2%	A
	お子様は、体を動かすことやバランスのとれた食生活、十分な睡眠時間の確保など、自分の体力や健康に気を付けた生活をしている。	14.3%	54.9%	27.0%	3.4%	0.4%	69.2%	C
	お子様は、自分のよさを自覚している。	13.5%	59.9%	21.1%	2.1%	3.4%	73.4%	B
	先生は、お子様のよいところを認めてくれている。	37.1%	44.3%	5.5%	0.4%	12.7%	81.4%	A
志学	お子様は、楽しく、または興味関心をもって、学習に取り組んでいる。	13.9%	48.1%	30.0%	5.1%	3.0%	62.0%	C
	お子様は、自分に適した学習の仕方に取り組んでいる。	15.2%	45.1%	26.6%	6.3%	6.8%	60.3%	C
	お子様は、将来の夢や希望を持っている。	22.8%	34.6%	25.3%	6.3%	11.0%	57.4%	D
誠実	学校は、いじめに対して適切な指導や対応ができています。	12.3%	35.4%	8.9%	0.8%	42.6%	47.7%	D
	お子様は、学校での活動（行事・委員会活動・係活動・清掃等）でやりがいを感じている。	20.7%	42.6%	20.7%	1.7%	14.3%	63.3%	C
	お子様は、身に付けた力を他者のために発揮する機会として、ボランティア活動や地域の活動等へ参加している。	12.2%	26.6%	35.0%	20.3%	5.9%	38.8%	D
その他	6月2日から6日までの5日間に、5時間授業の週を設けた週は、昼休みや放課後の時間を確保することで、お子様がゆとりをもった学校生活を過ごすことができました。	13.7%	33.0%	12.2%	5.1%	36.0%	46.7%	D

## (3) 教職員評価

校訓	質問	よくあてはまる	どちらかといえばあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	あてはまる	判定
剛健	生徒が、楽しく学校生活に取り組めるように心がけている。	51.9%	48.1%	0.0%	0.0%	100.0%	A
	体力向上に関する指導及び食や睡眠に関する指導などを行い、生徒の体力向上や健康増進のために努めている。	22.2%	63.0%	11.1%	3.7%	85.2%	A
	生徒は、自分のよさを自覚している。	11.1%	81.5%	7.4%	0.0%	92.6%	A
	生徒の良さを認め、支援するように心がけている。	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%	A
志学	生徒が、楽しく、または興味関心をもって、学習に取り組めるように心がけている。	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	100.0%	A
	生徒が、自分に適した学習の仕方に取り組めるように心がけている。	33.3%	59.3%	7.4%	0.0%	92.6%	A
	進学だけにとらわれず、生徒が自分の将来に目を向けられるようなキャリア教育活動に取り組んでいる。	37.0%	55.6%	7.4%	0.0%	92.6%	A
誠実	いじめに対して、適切な指導や対応ができています。	59.3%	37.0%	3.7%	0.0%	96.3%	A
	生徒が、学校での活動（行事・委員会活動・係活動・清掃等）でやりがいを感じるように努めている。	33.3%	63.0%	3.7%	0.0%	96.3%	A
	生徒が、ボランティア活動や地域の活動等で、身に付けた力を他者のために発揮できるように努めている。	25.9%	55.6%	18.5%	0.0%	81.5%	A
その他	6月2日から6日までの5日間に、5時間授業の週を設けました。この週は、生徒と向き合う時間が確保でき、生徒の活動の指導・支援に有効だと感じた。	38.1%	52.4%	9.5%	0.0%	90.5%	A

#### (4) 総合評価

校訓	項目	生徒	保護者	教員
剛健	学校生活の楽しさ	A	A	A
	体力や健康に気をつけた生活	B	C	A
	生徒自らによるよさの認知	A	B	A
	教員からの生徒のよさの認知	A	A	A
志学	楽しく、または興味関心をもった学習への取組	A	C	A
	自分に適した学習法	A	C	A
	将来の夢や希望	C	D	A
誠実	いじめ	A	D	A
	学校での活動のやりがい	A	C	A
	ボランティア活動や地域の活動等への参加	D	D	A
その他	5時間授業	A	D	A

一部評価の低い項目や、評価者による隔たりはありますが、学校運営協議会からは、全体的にとってもよくできていると評価を受けています。

#### 2 学校評価の分析と今後の努力事項

##### (1) 学校評価の分析

- ① 学校生活の楽しさについて、生徒、保護者、教員の3者ともが評価が非常に高く、学校生活が楽しいと感じているようです。特に生徒では、90%を超える人がそう思うと回答しています。
- ② 体力や健康に気をつけた生活について、教員と生徒の間で、体力や健康に対する意識が高くなっていることが分かります。一方で、保護者の評価はやや低めですが、全体的には健康への意識があることが分かりました。
- ③ 生徒自らによるよさの認知については生徒、保護者、教員の3者ともに評価が高くなっています。
- ④ 教員からの生徒のよさの認知についても生徒、保護者、教員の3者ともに評価が高くなっています。また、教員自身の評価が非常に高いことにより、日頃から生徒のよさを認めていこうとする姿勢が示されています。
- ⑤ 楽しく、または興味関心をもった学習への取組について、生徒と教員は高い評価をしていますが、保護者の評価がやや低い傾向にあります。この点において、生徒や保護者の間に認識の差が見られますが、保護者は昨年よりも評価が上がってその差が縮まっています。
- ⑥ 自分に適した学習方法についても、生徒と教員は高い評価をしていますが、保護者の評価はやや低めです。この点においても、生徒と保護者の間に差が見られますが、保護者は昨年よりも評価が上がってその差が縮まっています。
- ⑦ 将来の夢や希望について、教員は高い評価をしていますが、生徒と保護者の評価はやや低い傾向にあります。
- ⑧ いじめについて、生徒と教員は高い評価をしています。特に生徒は昨年に比べ評価が上昇しています。しかし、保護者の評価は低いです。また、保護者の半数近くが「わからない」と回答しています。なお、北部中学校ホームページには、「北部中学校いじめ防止基本方針」を掲載しております。保護者の皆様にはぜひご覧いただきたいと思えます。
- ⑨ 学校での活動のやりがいについて、生徒と教員は高い評価をしていますが、保護者の評価はやや低めです。この点においても、保護者の意見と生徒・教職員の意見との間に差が見られます。
- ⑩ ボランティア活動や地域の活動等への参加については、生徒と保護者で低くなっていますが、教師は、身に付けた力を他者のために発揮できる生徒が増えてきていると感じています。
- ⑪ 5時間授業については、生徒と教員は高い評価をしていますが、保護者の評価がやや低い傾向にあります。

##### (2) 今後の努力目標

評価結果及び分析から、各項目における改善点を把握し、関係者と協力して学校の改善に取り組むことが重要と考えます。特に、学習への取組、将来の夢や希望、地域活動への参加に関する保護者からの評価の低さは、学校にとって重要な指摘と考えます。この点において、以下のような取組を考えています。

学習への取組：他県からの学校の視察を積極的に受け入れて示唆を受けたり、大学教授等有識者の指導を受けたりしながら、授業改善をさらにすすめるとともに、「マイプラン学習」等の主旨を生徒・保護者に情宣します。教師が生徒に指導をするだけでなく、生徒に主体的に学ばせながら、学習活動を支援する方法や、その際の教師の言葉の使い方についてさらに工夫を重ねます。緒川小学校、森岡小学校と連携をとりながら、学習方法を考えていきます。生徒が、各家庭で保護者に「学校での学びのよさ」を語るができる、そんな姿を目指します。地域学校協働活動推進委員とさらに連携して生徒の学びを校外の方にも協力いただいて支えます。発展的な活動については、生徒と大人の実行委員制を取り入れて進め、生徒の目指したことが具現化できるようにします。創立50周年事業のレガシーを生かしていきます。

将来の夢や希望に関する取組：総合的な学習の時間のカリキュラムをキャリア教育充実の観点で見直します。これまでの固定概念からの脱却を図りながら、柔軟な考えに基づく教育課程の編成に努め、キャリア教育のねらい（一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てること）の達成を意識して教育活動を進めます。

いじめに関する情報の提供向上：生徒の姿を通して「学校は安心して過ごすことのできる場所となっている」ことを伝えていきます。学校から発信すべき情報については、引き続きホームページや tetoru 等を活用しながら、もれなく発信します。

地域活動への参加促進：地域学校協働活動推進員が組織的に機能することができるように、学校運営協議会委員の意見を踏まえて、取組を進めます。今まで以上に、生徒が主に土・日曜日等の学校休業日に学校外・地域への活動に参加するように促します。

5時間授業の推進は、本年度程度に來年度も実施し、さらに検証を進めて参りたいと思います。

これらの取組を通じて、保護者・地域と協力しながら、学校全体の環境をよりよいものにしていくことを目指します。ご理解とご協力を賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。